

助教

山本 佳代子

■ 学歴

1. 2022年 放送大学修士課程 卒業

■ 学位

1. 2022年 修士（学術）

■ 研究分野

1. レクリエーション
2. 障害福祉
- 3.

■ 研究キーワード

1. 障害のある人の余暇
2. きょうだい
3. アートマネジメント

■ 研究課題

1. 障害のある人が取組むアート活動を通じた社会包摂の実践
2. 病気や障害のある子どものきょうだいへの支援プログラムの検討

■ 担当授業科目

1. ヒューマンサービス基礎演習（前期）必須
2. 基礎実習（通年）選択
3. ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（通年）選択
4. ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（通年）選択
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【ヒューマンサービス基礎演習】 |
| | 一年前期の必須科目であり、ヒューマンサービスの専門家として基本的なコミュニケーションス |

	キルについて理解を深めることを目的とした科目である。他者と関わりながら、自分自身への理解や自分の行動を多面的に捉える力がつけられるよう、グループワークを積極的に取れ入れた。授業終了後の振り返りシートを利用し、体験を言語化、他者との共有、新たな視点の獲得ができるよう努めた。
2.	授業科目名【基礎実習】 3名の教員で少人数のグループを担当し、個別指導を行いながら初めての実習への準備を進めた。各自で取り組む事前学習のほかに、実習生としての心構え、相手に合わせた自己紹介の方法やマナー等、実際の現場ですぐ活かせるようグループでの演習にも力を入れた。また実習中もそれぞれの体験を共有できる機会を設け、悩みや不安、課題を共有しグループ皆で協力しながら実習を終えることができるよう工夫した。
3.	授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅰ】 一人ひとりが実習に主体的に取組み、自分自身の実習を組み立てていくことができるよう、まずは先輩の体験談や学びを聞く機会を設け、実習の具体的なイメージを持てるよう努めた。事前学習には、視覚障害の体験や車いす操作等の実技も取り入れ、基礎的な技術の習得に努めた。またグループ学習を取り入れ、調べること・発表することを通し全体で基本的な理解を深めた後、それぞれの興味関心に基づき実習計画書を作成できるよう指導した。また事前学習では、ワークシートを用い、各自がオリジナルの事前学習シートを作成し、実習中も活用できるよう工夫した。
4.	授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅱ】 実習分野における基本的な理解を深められるよう、課題を設定し調べ学習と発表を行いながら学びを深めた。また実習Ⅰでの自身の課題の整理にも取組み、それぞれが実習Ⅱにおける達成目標を明確にできるよう努めた。実習計画書作成時は、各自が何を学びたいか整理し、実習に臨めるよう個別指導を行いながら書類を作成した。実習後は、同じ領域に実習へ行った学生同士が、学びや課題を共有することで全体の学びにつながるよう発表準備の個別指導を工夫した。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2004年	日本レジャー・レクリエーション学会	
2.	2013年	九州レジャー・レクリエーション学会	
3.	2021年	日本小児保健協会	

■ 研究業績等に関する事項（2024年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）					
1.					
2.					

3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2 0 0 4 年～現在に至る	地域貢献活動「ちゃれんじ」	
2.			
3.			